

モーセ物語

～旧約聖書・出エジプト記から～



親愛幼稚園

井田 泉

1 モーセの誕生

昔々遠い昔、神さまを信じていたイスラエルの人たちはエジプトで暮らしていました。イスラエルの人たちとエジプトの人たちは仲良く暮らしていたのです。ところが悪い王さまが現れて、恐ろしい命令を出しました。「イスラエルの家に男の子が生まれたら、ナイル川に投げ込んでしまえ」。

そのころ、レビさんというイスラエルの人の家に赤ちゃんが生まれました。男の子でした。とってもうれしかったけれども、とても心配です。悪い王さまに見つかったら捕まえられてしまいます。

ずっと赤ちゃんを家の中に隠していました。でも赤ちゃんは泣きます。どうしよう。お母さんはお祈りしました。お父さんはお祈りしました。お姉さんのミリアムさんもお祈りしました。「どうか赤ちゃんを助けてください。」

でもこのままでは見つかってしまいます。お母さんは小さなかごを編んで、そのかごの中に赤ちゃんのモーセちゃんを大切に寝かせました。そしてナイル川の、あしという草が生えている茂みに、そっと浮かべました。「神さま、どうか守ってください。」

お姉さんのミリアムさんは、赤ちゃんがどうなるか、祈りながら、離れたところからじっと見ていました。するとそこにエジプトのお姫さまが水浴び（水遊び）にやってきました。赤ちゃんの泣き声がします。かごがありました。かごの中で赤ちゃんが泣いています。

「かわいそうに。どうしたらいいかしら」

そのとき、お姉さんのミリアムさんが近づいて行って言いました。「わたし、赤ちゃんにおっぱいを飲ませてあげる女の人を知っています」。

「それじゃあ、その女の人を呼んできてください」とお姫さまは言いました。ミリアムさんはほんとうのお母さんと呼んできました。お姫さまが言いました。「この子におっぱいをやって大切に育てておくれ」

こうしてモーセちゃんはエジプトのお姫さまの子どもになって、王さまの宮殿で無事に大きくなることができました。

でもモーセさんはエジプトの人ではありません。イスラエルの人です。ある日、モーセさんが道を歩いていると、イスラエルの人がエジプト人にひどくいじめられています。モーセさんは黙っていられなくなりました。いじめるのはやめろ！

やがてモーセさんはイスラエルの人々をエジプトから助け出すことになるのです。

モーセを守られた神さま、わたしたちを守ってください。ミリアムさんに勇気と優しい心を与えられた神さま、わたしたちにも勇気と優しい心をお与えください。アーメン

2 神の杖

赤ちゃんのモーセさんはエジプトのお姫さまに拾われ育てられて、エジプトの王子さまになっていました。でも自分がイスラエル人であることは知っていました。

すっかり大きくなっていたモーセがある日、町を歩いていると、エジプトの監督がイスラエルの人をひどくいじめています。殴ったり蹴ったりしているのです。モーセさんはイスラエルの人がかわいそうでとても腹が立って、「やめろ！」と言ってエジプトの監督を殴り倒してしまいました。

「モーセを捕まえろ」という声が聞こえます。モーセはもうエジプトにはいられなくなって、遠く遠くミディアンというところまで逃げて、羊飼いになりました。毎日、イスラエルの人のことを心配していましたが、どうすることもできません。毎日お祈りしながら、そこでもう長い長い年がたって、モーセはとうとう 80 歳のおじいさんになっていました。

ある日モーセは羊の群れを連れて、シナイ山という山に登っていきました。すると山の中に火が燃えていました。不思議に思って近づいてみると、「モーセよ、モーセよ」と呼ぶ声がします。

神さまの声でした。「モーセさん、あなたはエジプトに帰って、イスラエルの人々をエジプトから助け出さない」

モーセさんはとても困って言いました。

「神さま、わたしにはそんな力はありません。それにもうすっかり年を取っています」

すると神さまは言われました。

「お前が持っているのは何か」「杖です」「それを投げてみなさい」

投げると蛇になったのでびっくりしてモーセは飛びのきました。

「そのしっぽをつかんでみなさい。」

つかむと、元の杖になりました。

「これがわたしがあなたと一緒にいるしるしだ。わたしはどんなことがあっても必ずあなたといっしょにいてあなたを守る。だから行きなさい。あなたの杖は、神の杖だ」

モーセは神さまからいただいた杖をしっかり握って、エジプトに戻っていきました。

神さまがモーセさんを励ましてくださったので元気が湧いてきたのですね。

モーセに必ず一緒にいると約束された神さま、わたしたちといつも一緒にいて守ってください。そしてわたしたちもお互いに助け合い、励まし合うことができますように。わたしたちも苦しんでいる人の力となることができますように。このお祈りをイエスさまによっておささげします。アーメン

3 マナ

モーセさんのお話の3回目です。

80歳のおじいさんとなったモーセさんは神さまから大切なお仕事をいただきました。

それは、エジプトで苦しんでいるイスラエルの人々を助け出してあげなさい、という命令でした。

モーセさんは神さまからいただいた杖を持ってエジプトに帰って行きました。

そして皆を励まして、イスラエルの人々をエジプトから助け出したのです。モーセさんを信じ、神さまを信じた人たちはエジプトを出発しました。

ところがしばらくすると、後ろからはエジプトの軍隊が追いかけて来ました。前は海です。どうしよう。もう助からない！

しかし神さまはモーセに言われました。

「その杖を高く差し上げ、海のほうに向けなさい」

すると不思議なことに海の水が右と左に分れて、間に道ができました。イスラエルの人たちは海の中に開けた道を渡って向こう岸に行くことができました。全員が渡ってしまったとき、エジプトの軍隊がやってきました。ところがとどき、水が戻ってきて元の海になってしまったので、エジプトの軍隊は渡ることはできませんでした。

こうして神さまに守られて、モーセを先頭に、イスラエルの人々は昔の遠い故郷の国を目指して長い長い道を旅して歩いて行きました。

ところがとても困ったことが起こりました。「モーセさん、パンがありません」「食べるものがない」「モーセ、どうしてくれる！」

モーセさんは神さまにお祈りしました。神さまは言われました。

「明日の朝、天からパンを与えよう」

次の日の朝起きてみると、地面の上にずうっと遠くまで、白いものが薄く積もっていました。雪かな？ 霜かな？ これは何かな。取って口に入れてみるとおいしい。これは「マナ」というもので、その日から神さまは毎朝、天からマナを降らせて、イスラエルの人々の旅を守ってくださったのです。

神さま、わたしたちにも食べ物をお与えください。また弱ったときには元気と力をお与えください。毎朝、毎日新しくわたしたちを元気にしてください。そして力を合わせて進んで行くことができますように。アーメン

(2017.10)